

第2回 技術講演会・出展技術発表会を開催しました。 (平成28年6月8・9日)

関東技術事務所では、建設技術展示館において、技術者に向けた建設技術に関する情報提供を継続して実施しております。その一環として「第2回技術講演会・出展技術発表会」を建設技術展示館にて開催しました。

今回は、両日で延べ369名という多数の方々のご参加を頂きました。

主催者を代表して、関東技術事務所の所長挨拶の後、技術講演会第1日目は、国立研究開発法人 土木研究所 先端材料資源研究センター 材料資源研究グループ 古賀上席研究員による「コンクリート構造物の劣化原因と新設時の品質確保について」、2日目は、国立研究開発法人 土木研究所 先端材料資源研究センター 材料資源研究グループ 中村主任研究員による「コンクリート構造物の補修技術と留意点」と題したご講演を頂きました。

技術講演会の後は、出展技術発表会で出展者により16技術が紹介されました。

1 日 時	: 平成28年6月8日(水) 13:00~17:15・9日(木) 13:00~17:15
2 場 所	: 関東技術事務所 建設技術展示館
3 参加者	: 1日目 195名、2日目 174名 延べ 369名



主催者挨拶

要旨:

主に建設技術者の方々を対象として、建設技術や建設技術の開発・活用の取り組みについて情報を提供して、公共工事に係る技術者の知識の習得及び技術の普及を図ることを目的として開催。



1日目 技術講演会

要旨:

- ①コンクリート構造物の代表的な劣化メカニズムと対策について
- ②施工の信頼回復のための取り組みについて
- ③最近の話題・残されている課題について



2日目 技術講演会

要旨:

- ①コンクリート構造物の不具合事例の紹介
- ②各種補修工法の選定方法について
- ③各種補修工法の材料、施工法の選定方法・施工上の留意点について



出展技術発表会の様子



1日目 会場の様子



2日目 会場の様子

出展技術発表会の内容

今回の出展技術発表会のテーマは、「コンクリート工、下水道、安全管理」で、第1日目は7技術、第2日目は9技術についての発表が行われました。

【1日目】

発表技術名「副題」	NETIS登録No.	出展者名
STTG工法 目地等の開きにも追従し、多量の漏水も確実に止水	KT-140103-A	一般社団法人 STTG工法協会
高分子天然ガス圧接継手工法(エコスピード工法) 天然ガスを用いた鉄筋を接合するガス圧接技術	TH-120026-VE	エコウェル協会
Head-bar(ヘッドバー) プレート定着型 せん断補強鉄筋・軸方向鉄筋	KT-010207-VR	ブイ・エス・エル・ジャパン 株式会社
タフコーティッド(Toff Coated)製品 道路安全施設における変性飽和ポリエステル樹脂塗装製品	KT-050045	東京製綱 株式会社
透水機能を有する型枠工 排水湿潤連続養生による耐久性向上技術 -Wキュアリング-	KT-130100-A	大成建設 株式会社
マルチレベル工法・マルチ搬送(横引)工法 プレキャスト製品据付&搬送横引施工技術	TH-020011-V	マルチレベル工法・マルチ 搬送(横引)工法研究会
タフネスコート コンクリート構造物の表面をポリウレア樹脂で被覆して崩壊までの変形性能を向上させる技術		清水建設 株式会社

【2日目】

発表技術名「副題」	NETIS登録No.	出展者名
コンクリート浸透性改質剤[RCガーデックス] RCガーデックスによるコンクリートの長寿命化	KT-060075-VE	日本躯体処理 株式会社
RCガーデックス 防錆強化剤 亜硝酸塩含有コンクリート塗布型鉄筋防錆剤	KT-150007-A	
乾式ワイヤーソーイング工法 切削用冷却水を使用せず、汚泥も発生させないワイヤーソー切断工法	KT-080004-V	第一カッター興業 株式会社
Jシステム(赤外線調査トータルサポートシステム) 赤外線によるコンクリート損傷を診断する技術	SK-110019-V	西日本高速道路エンジニア リング四国 株式会社
イーグル(道路性状測定車) 路面性状調査とトンネル覆工面調査をする技術		
Color Gate System ~動作管理システム~ カラーバーコードを利用して入退場等を管理する技術	HR-140017-A	五洋建設 株式会社
ヒートライナー工法 老朽化した管路を更生しながら下水の熱を利用する技術		東亜グラウト工業 株式会社
プライムスライン 圧力管のリハビリテーション工法		
施工領域安全監視システム【3Dバリア】 工事中のクレーン作業の安全を見守る、作業エリアを監視する技術	KT-140100-A	計測ネットサービス 株式会社